

令和7年度 高志中学校1年 「高志学」外部講師リレー講座①

- 1 期 日 6月12日(木)
- 2 場 所 福井県立高志中学校 若葉食堂
- 3 講 師 仁愛大学 人間学部コミュニケーション学科 特任教授 南保 勝 先生
- 4 参加生徒 85名
- 5 報 告

6月12日(木)に、1年生の外部講師リレー講座①として、仁愛大学の南保勝先生に「福井県の経済と産業・企業」というテーマで講演していただきました。

前半は、福井県の経済の歴史について学びました。福井県は昔から全国の各地をつなぐ拠点としての役割を担っており、ローカルだけどグローバル(グローカル)な地域であることや、自然が多く農業県であるイメージが強いけれど、実は工業が発達していることを、明治期から遡ってお話していただきました。北前船の船主が福井県にいたことや、大陸文化伝来の玄関口となる地域がいくつか存在したことなど、福井県が広域ネットワークの拠点として、経済、文化、人的交流などの面で重要なポジションを担っていたとことを知ることができました。

後半は、福井県の現在の経済について様々な観点からお話していただきました。最初は、生徒たちは、経済のイメージができていないようでしたが、「お金」を介して、「家計」「企業」「政府」が主体となってやりとりをしているということをわかりやすく説明していただきました。また、GDPに関する話では、日本は世界でもGDP上位であると知っているようでしたが、福井県が41位と全国の中でも下位の方にいるということを聞いて、少し驚いている様子でした。福井県の労働については、勤勉で粘り強い県民性を有することと働く女性が多いといった特徴を、いろいろな指標やこれまでの歴史をもとに詳しく解説していただき、福井の労働の現状について理解を深めることができました。また、産業については、全国でも有数のメガネフレームや繊維産業などの分野においても、そのものを作るだけでなく、培ってきた技術を生かして他分野の製品も手掛けていることを知ることができました。

最後に、南保先生は「福井の産業はすごい。そのことを知り、誇りに思ってもらいたい。」と話されました。また、その産業を発展させていくには、住んでいる地域のことを知ること、新しい時代の生き方や暮らし方を考えること、独自の企画力、構想力、ビジョン力、アイデア力、人間力を育てることなど、生徒たちにこれから培って欲しい力を提示していただきました。また、講義後には生徒たちからたくさんの質問があり、とても充実した講座となりました。

